

腎代替療法の最適化

医療法人 今村クリニック 院内広報誌

腎代替療法の「再選択と最適化」
ご存じですか？

腎代替療法は、
「腹膜透析」「血液透析」「腎移植」
から選ぶことができます。

腎代替療法は、
からだの具合や生活スタイルに合わせて
変えていくことができます。

いまのあなたにぴったりの治療法、
一緒に考えてみませんか？

「腎代替療法の再選択と最適化」について説明・情報提供をご希望の方は
スタッフまでお気軽にお申し出ください。

「血液透析」以外の腎代替療法、
ご存じですか？

「腹膜透析」は
病院・クリニックではなくご自宅で行う
マイルドな透析療法です。

「ハイブリッド透析」は
腹膜透析と血液透析を組み合わせた
「いいとこ取り」の透析療法です。

「腎移植」は
他のひとの腎臓を譲りうけて
自分の体内で活用する治療法です。

「腎代替療法の再選択と最適化」について説明・情報提供をご希望の方は
スタッフまでお気軽にお申し出ください。

	血液透析 (HD)	腹膜透析 (PD)
残存腎機能の維持	透析導入後は急激に尿量減少	緩やかな治療であるため比較的保たれる
残存腎機能の意義	残存腎機能は透析導入後の予後に直結・残存腎機能が廃絶するとPDの継続は困難に	
心血管系への負担	大きい	小さい
水分・塩分制限	厳格に実施すべき・いったん体液過剰が悪化するとPDでは解除が困難となる場合も	
食事制限	厳格に実施すべき	カリウム制限が緩い
アクセス	ブラッドアクセス	ペリトネアル(腹膜)アクセス
透析場所	病院や透析クリニックなど	自宅や会社など(医療機関外)
実施・通院回数	週2～3回、1回4時間前後	毎日1～4回の注排液、月1～3回外来通院
透析を行なうのは...	医師/看護師/臨床工学技士	自分/家族/訪問看護師/往診医

ライフゴール達成の「必要条件」は変化するものと推測される。そして、腎代替療法の再選択がその「必要条件」に合致するケースは実在し、それを見逃してはならない。